

## I 第51週の発生動向 (2009/12/14~2009/12/20)

1. インフルエンザについては、県内すべての保健所管内において**警報**が発令されています。
2. 伝染性紅斑については、上十三保健所管内において第44週から**警報**が継続しています。

## II 第51週五類感染症定点把握 注：五類感染症定点把握疾病の警報・注意報については、二次保健医療圏単位で判定しています。

疾患名	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数	東地方(再掲)		青森市(再掲)	
	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点		数	定点	数	定点
小児科 内科 (85) インフルエンザ	339	24.2	266	17.7	328	23.4	144	20.6	438	48.7	354	59.0	1,869	28.8	-629	28	14.0	311	25.9
小児科 (74) RSウイルス感染症	20	2.2	30	3.3			12	2.4	1	0.2			63	1.5	-28			20	2.5
(75) 咽頭結膜熱									1	0.3	1	0.0	-13						
(76) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	17	1.9	2	0.2	1	0.1			21	3.5	12	3.0	53	1.3	21	1	1.0	16	2.0
(77) 感染性胃腸炎	22	2.4	8	0.9	10	1.1	5	1.0	37	6.2	18	4.5	100	2.4	45	7	7.0	15	1.9
(78) 水痘	10	1.1	11	1.2	9	1.0	3	0.6	4	0.7	6	1.5	43	1.0	-20			10	1.3
(79) 手足口病			3	0.3	1	0.1			1	0.2			5	0.1	1				
(80) 伝染性紅斑	1	0.1			3	0.3			7	1.2			11	0.3	-6			1	0.1
(81) 突発性発しん	8	0.9	2	0.2	5	0.6	3	0.6	1	0.2	1	0.3	20	0.5	3	1	1.0	7	0.9
(82) 百日咳															-1				
(83) ヘルパンギーナ															0				
(84) 流行性耳下腺炎	1	0.1			2	0.2	3	0.6	1	0.2			7	0.2	-1			1	0.1
眼科 (86) 急性出血性結膜炎															0				
(87) 流行性角結膜炎	1	0.5					3	3.0					4	0.4	2			1	0.5
基幹 (95) マイコプラズマ肺炎			1	1.0	5	5.0					2	2.0	8	1.3	-3				

■ は警報、■ は注意報。「空欄」：患者発生無し。

### III 表II以外の感染症法対象疾患

- (9) 結核(二類全数把握疾患)：弘前3人、五所川原1人、上十三1人、青森市2人 (21年計：325人)
- (58) アメーバ赤痢(五類全数把握疾患)：八戸1人 (21年計：4人)
- (64) 後天性免疫不全症候群(五類全数把握疾患)：青森市1人 (21年計：6人)

### IV 病原体検出情報

病原体検出情報はありませんでした。

過去の全数把握疾患については、月報をご覧ください。

## 感染症の窓

## アメーバ赤痢

(五類全数把握疾患)

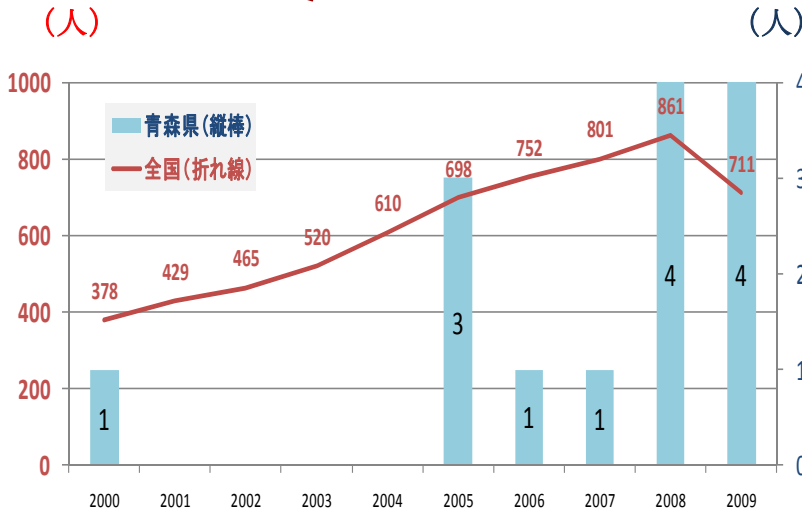


図 全国及び青森県における届出数年次推移

(全国値は第49週、青森県は第51週現在までの速報値です)

本疾患は原虫に分類される赤痢アメーバ (*Entamoeba histolytica*) による感染症で、病型別では、腸管アメーバ、腸管外アメーバ (肝膿瘍など) に分けられます。青森県では、第51週現在4人の届出があり、いずれも下痢、粘血便、腹痛、発熱などを主症状とする腸管アメーバ症でした。感染症発生動向調査による全国値は、2000年から2008年までに約2倍に増加しています(左図)。従来は、海外渡航者の感染が多いといわれていましたが、近年は国内感染による発症例が70%をしめていると言われていました。感染は、患者の排泄物などの経口摂取により感染することから、手洗いの励行など日頃からの一般的な衛生の徹底管理、感染症予防対策が重要です。

V インフルエンザ情報 (注: 届出数は速報値です)

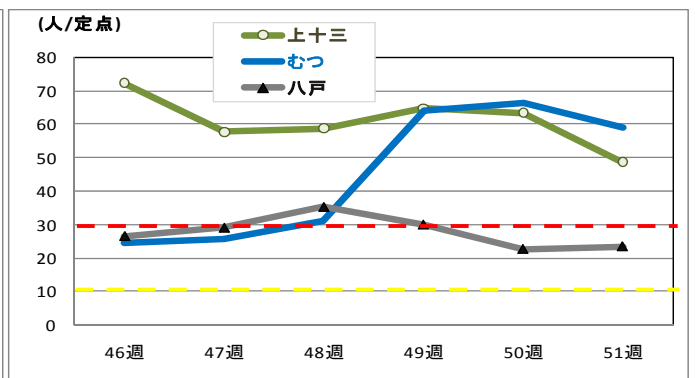
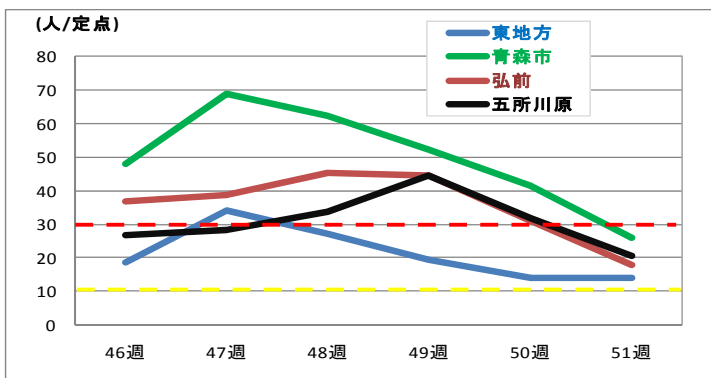
・青森県全体の届出数は 1,869 人 (629 人減少) です。

	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週	51週
東地方+青森市	注意報	警報	警報	警報	警報	警報	警報	警報	警報	警報
弘前	—	注意報	警報	警報	警報	警報	警報	警報	警報	警報
八戸	注意報	注意報	注意報	注意報	注意報	注意報	警報	警報	警報	警報
五所川原	—	—	注意報	注意報	注意報	注意報	警報	警報	警報	警報
上十三	注意報	注意報	警報	警報	警報	警報	警報	警報	警報	警報
むつ	—	注意報	警報	警報	警報	警報	警報	警報	警報	警報

V-1 迅速診断キットによる型別は以下の通りです。

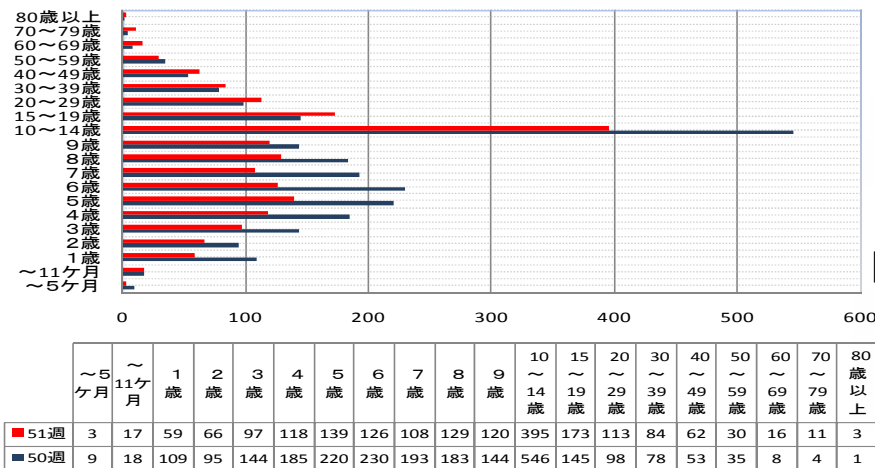
	東地方	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ	青森市
インフルエンザ報告数	28	266	328	144	438	354	311
A型	28	266	228	144	428	354	295
B型	0	0	3	0	3	0	1
不明	0	0	97	0	7	0	15

V-2 保健所管内別の定点あたり届出数推移



・警報開始基準値は 30 人/定点 (図赤破線)、終息基準値は 10 人/定点、注意報開始レベルは 10 人/定点 (図黄色破線) です。

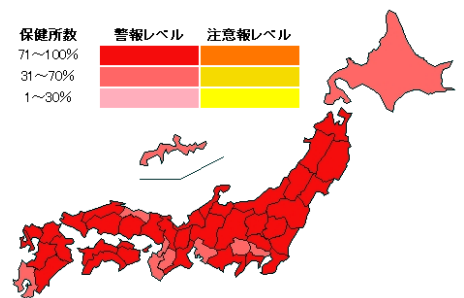
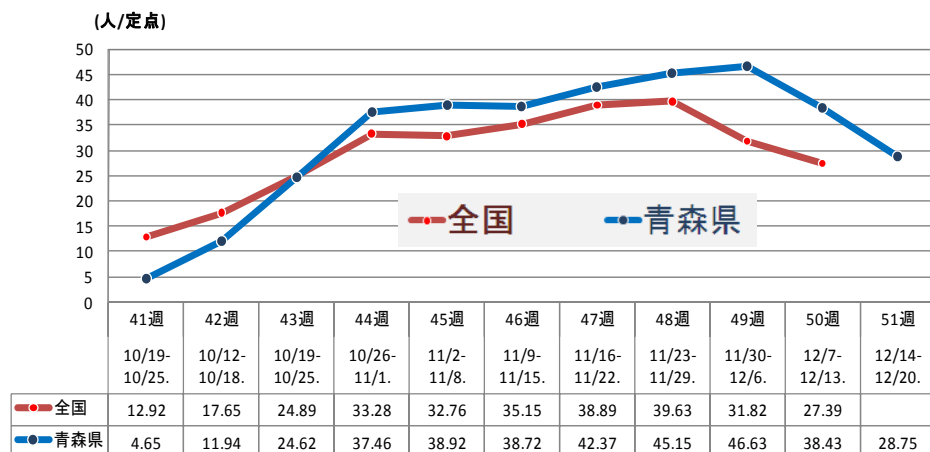
V-3 年齢別構成 (2週比較) 単位: (人)



( 青森県保健所管内マップ )



V-4 全国比較 (2009年41週～51週) ※全国値は50週までです。



第50週感染症発生動向調査において、全国都道府県すべてにおいて、警報発令保健所が存在しています。